



令和7年度成田市立下総みどり学園学校経営方針（案）

校長 大徳 正博

1. 学校教育目標

「地域とともに夢と希望に向かってたくましく生きる下総っ子」

夢や希望を持つためには、自分をよく理解し自分を大切にすることが大切である。抱いた夢や希望を実現するために、他と協調し自らを律し粘り強く努力できる子どもの育成を目指す。そして何よりふるさと下総を愛し下総のあたたかさを大切にして、下総、社会に貢献できる人間の育成を目指す。

目指す子ども像

- ① しなやかな心を持った子 … 「他を思いやれる優しい気持ち」
「困難にくじけない粘り強い心」★
「素直で前向きな心」
- ② 進んで学ぶ子 …………… 「基礎基本をしっかり身につける子」★
「よく知りよく考える子」★
- ③ 健康でたくましい子 …………… 「命の大切さを理解し健康で安全に過ごす子」★

★ R7 努力点

目指す学校像

- ① 9年間を見通した魅力ある教育課程により、学力の向上を保障できる学校
- ② 多様な価値観・指導観を持った職員の関わりによる継続した系統的な学習指導・生活指導が行われる学校
- ③ 子どもの成長を、学校・家庭・地域が協働して見守り続ける体制の核となる学校

目指す教師像

- ① 一人一人の子どもを愛し、熱い情熱と覚悟をもって子どもと正面から向き合う教師
- ② 高い理想と倫理観を持ち、変わることを恐れずに自らの人格を磨き続ける教師
- ③ 良好な人間関係を構築し、組織力を発揮できる教師
- ④ 子どもの学ぶ意欲を引き出し、子どもの良さや可能性の伸長を支える教師

2. 学校経営方針

- (1) 学校の自主的運営、地域との協働、グローバル化・情報化への対応をカリキュラム・マネジメントの手法を講じながら、義務教育学校である本校にしかできない・本校だからこそできる学校づくりを推進する。そのために、「9年間の連続した学び」が効果的に展開される特色ある教育課程を編成するとともに、多様な教育活動を展開する。
- (2) 義務教育の課程を経て自立した大人になるために、9年間の学びを一体のものと捉え、前期（1学年～4学年）、中期（5学年～7学年）、後期（8学年、9学年）の区分で段階的に必要な力を身につけさせる。

前期：学習や、集団生活に必要な基礎・基本を身に付ける。⇒自分と向き合う

中期：自ら学ぶ習慣や、良好な人間関係を築く力を身に付ける。⇒他者と向き合う

後期：進路決定に向け、自律と自立に基づいた、行動・言動を身に付ける。⇒将来や社会と向き合う

- (3) 教育活動全体を通じ命の大切さを理解させるとともに、主体的に行動し表現できる「生きる力」を育む指導を徹底する。
- (4) 全教職員が義務教育学校としての「子ども観」、「指導観」、「指導方法」を身につけ、多面的・多角的な視点で、子ども一人ひとりに即した指導が行えるようにする。
- (5) 地域唯一の義務教育の学校であることを常に意識し、家庭・地域・関係機関と連携・協働して教育活動を展開するとともに、互いに信頼し合える教育の場づくりをすすめる。

3. 重点目標

『知育』・・・学習規律がしっかりと身に付いた子どもの育成

進んで学習し、深く考える喜びを実感できる子どもの育成

→前期ブロックにおける複数教員による学習・生活支援、5年生からの50分授業・教科担任制の実施、タブレットの積極的・効果的な活用、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現（授業改善）、読書活動の推進、家庭学習の個別化・個性化・習慣化、総合的な学習（探究）の時間の充実

『徳育』・・・自分をよく知り、愛し、そして他を尊重できる子どもの育成

→子ども主体の活動（縦割りの活動、異学年交流、生徒会活動→委員会活動の充実）、あいさつ・清掃・歌声活動、体験活動の充実、道徳教育の充実

『体育』・・・自らの健康・安全に関してしっかりと理解し、積極的に実践できる子どもの育成

→体育科の工夫、課外活動の充実、残菜量ゼロを目指した食育

4. 目指す子ども像を達成するための経営の重点と具体的方針（5項目17方策）

（1）学習指導等（指導計画、指導実践、評価・改善、キャリア教育など）

- ① 9年間をつないで子どもの学力向上に取り組む
- ② タブレット端末などICT機器を積極的に効果的に活用した授業づくり
- ③ 読書活動の推進を図り、文章を読み解く力の基礎づくりに努める
- ④ 家庭と連携し、家庭学習の個別化・個性化・習慣化を図る
- ⑤ 特別支援教育の充実を図る
- ⑥ グローバル社会で活躍できる能力を育む
- ⑦ 系統的なキャリア教育の推進

（2）生徒指導等（児童生徒理解、指導実践、特別活動等、健康安全、課題への対応など）

- ⑧ 豊かな心を育て、道徳心を育む教育の推進
- ⑨ 子どもが安全に安心して生活できる学校をつくる
- ⑩ 心身ともにたくましい子どもを育てる
- ⑪ 子どもの主体性を重んじる活動を展開する

（3）校務分掌等（学校運営、校務分掌など）

- ⑫ 校務分掌を機能させ、情報を共有し、協働体制を構築する
- ⑬ 校内研修を充実させ、指導力の向上を図る
- ⑭ 評価を生かした学校づくりを推進する

（4）調整・連携（職員間の連携、保護者等との連携など）

- ⑮ 教職員間で調整・連携して円滑に学校運営を進める
- ⑯ 家庭・地域、関係機関等と連携する開かれた学校づくりを推進する

（5）不祥事根絶・働き方改革

- ⑰ ワークライフバランスを意識した職場環境づくりを推進する